

1 外部向け研修会・講習会・公開講座等の実施状況

(1)	「明日からできる脊髄損傷」研修会		
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師など
目的	脊髄損傷のリハビリテーションの関わりにあたり、臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化して実施する。	日時	①R4. 5. 13（金）18:30～19:45 ②R4. 8. 5（金）18:30～19:30 ③R4. 10. 7（金）18:30～19:45 ④R5. 2. 3（金）18:30～19:45
		場所	オンライン開催
		参加人数	①144名、②104名、③134名、④85名
①明日からできる脊髄損傷の評価（リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、作業療法士 神保和正） ②明日からできる頸髄損傷の理学療法 （リハビリテーション治療部 上席理学療法士 鈴木謙太郎、理学療法士 後藤拓也） ③明日からできる頸髄損傷の作業療法（リハビリテーション治療部 作業療法士 吉村友宏、作業療法士 柴徳乃歌） ④明日からできる頸髄損傷の看護と社会参加支援 （看護部 副看護師長 富岡久美、総合相談部 入退院支援室長 阿部里子）			

(2)	第4回せき損リハ・ケア研修会		
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなど
目的	千葉県内の脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを発展させるため、当センターの脊髄損傷者に対するリハビリテーション支援の取り組みを紹介する。	日時	R4.6.11(土)9:30～15:50
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 2F大ホール
		参加人数	49名

講義：

①「評価に基づくリハビリテーションプログラムの構築と患者・家族への説明」(診療部 センター長 菊地尚久)

②「脊髄損傷者へのADL支援」(リハビリテーション治療部 主任作業療法士 神保和正)

③「精髄損傷者へのADL支援の実際～排泄管理について～(看護部 副看護師長 富岡久美)

④「脊髄損傷者への退院支援」(総合相談部 入退院支援室長 阿部里子)

⑤「脊髄損傷者に対するADLの基盤づくり～理学療法士の役割～」

(リハビリテーション治療部 主任理学療法士 杉原あゆみ)

(3)		Chiba SCI Salon	
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	千葉県脊損データベース参加施設
目的	千葉県脊損データベースに参加登録している施設同士の交流の機会として実施する。このような機会を通じて、千葉県における脊髄損傷者に対するリハビリテーションの支援体制を強化する目的がある。	日時	R5.1.27（金）18：00～19：30
		場所	オンライン開催
		参加人数	19名
①千葉県版脊損データベースについて（リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司）			
②各施設紹介 日本医科大学北総病院（理学療法士 鈴木光司氏） 船橋市立リハビリテーション病院（作業療法士 前田尚賜氏） 季美の森リハビリテーション病院（理学療法士 深江航也氏）			
③全体討論			

(4)	出前講座「どうしよう！股・膝の手術」		
担当部署	関節ワーキンググループ	対象	膝の痛みがある地域住民及び家族
目的	・膝の痛みでお悩みの方に、変形性膝関節症の正しい知識と痛みに対する適切な対処方法を理解していただき、痛みの軽減と自己管理能力を高める ・当センターで実施している人工関節手術等の治療について周知する	日時	R4.6.25（土）14:00 ～ 16:00
		場所	城西国際大学 千葉東金キャンパス
		参加人数	20 名
①医師から（診療部 第二整形外科部長兼第二リウマチ科部長 常泉吉一） ・最新の人工関節の手術とは？ ②測定会（城西国際大学 理学療学科 教員・学生） ・今のカラダを知りましょう～力は？曲がる？しっかり動く？イマを知ろう～ ③理学療法士から（リハビリテーション治療部 理学療法士 道家咲楽、理学療法士 宮澤拓人） ・手術に向けたカラダ作りと術後リハ			

(5)	こどものリハビリ多職種勉強会		
担当部署	総合療育センター	対象	小児リハに関わる多職種
目的	小児リハビリにおける多職種での学びとお互いの質を高める	日時	R4.10.8（土）13:00～16:00
		場所	オンライン開催 ・Zoom ミーティング 57 名 ・YouTube 配信 40 名
		参加人数	97 名
今年度はコロナ感染防止に伴い、WEB形式（ZOOMおよびYouTube）での開催。 テーマ：小児リハの発展と連携 それぞれの立場からできること ○公開講演：「小児リハの地域・多職種連携」（ボパース記念病院院長 荒井洋氏） 「訪問リハでできること」（スマイル訪問看護ステーション 理学療法士 直井寿徳氏） ○シンポジウム：（発達支援くうばの 作業療法士 中頭賢志郎氏、当事者ご家族 長尾信子氏、 リハビリテーション治療部 第二理学療法科長 小川智美） ○意見交換			

(6)	「明日からできる小児リハビリテーションのキホン」研修会		
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など
目的	小児リハビリテーションの関わりにあたり、セラピストが臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化して実施する。	日時	①R4. 12. 16（金）18:30～20:00 ②R5. 1. 20（金）18:30～20:00 ③R5. 2. 17（金）18:30～20:00 ④R5. 3. 17（金）18:30～20:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	①87名、②57名、③79名、④48名
①ライフステージにおける小児リハビリテーションの視点（リハビリテーション治療部 主任理学療法士 大矢祥平） ②小児リハビリテーションに必要な評価：全般編 （リハビリテーション治療部 主任理学療法士 大矢祥平、理学療法士 千葉彩加） ③小児リハビリテーションに必要な評価：PT編 （リハビリテーション治療部 上席理学療法士 北村千里、理学療法士 千葉彩加） ④小児リハビリテーションに必要な評価：OT編（リハビリテーション治療部 上席作業療法士 吉田顕）			

(7)	療育支援研修会		
担当部署	総合療育センター	対象	肢体不自由児支援に携わる保育士等
目的	千葉県内の未就学の障害児支援に携わる保育士や支援者に、摂食を中心にした支援の手助けや、また課題解決に向けた研修を行う。	日時	R4.11.26（土）9:30～12：30
		場所	オンライン開催
		参加人数	104 名
例年は摂食の実技や障害児の遊び等の講義を行っていた。令和 3 年度よりコロナ感染防止に伴い時間短縮、講義のみの研修を行っており、摂食では概要の説明や動画等利用して講義を行った。4 年度は初のオンライン形式での実施とした。			
①小児の摂食・嚥下障害のまとめ（病態やリスク管理を含めて）について （診療部 第二小児神経科部長 湧井敦子）			
②口腔機能の発達と障がいのある児の食事援助について（リハビリテーション治療部 上席作業療法士 吉田顕）			
③遊びの道具紹介について（児童発達支援センター 保育士 牧野 沙来）			
④偏食・拒食について（看護部 主席看護師 青木ゆかり）			

(8)	成人期施設職員研修会		
担当部署	総合療育センター	対象	成人期を迎えている脳性まひ等の方が通う県内の障害者利用施設職員
目的	千葉県内の障害者利用施設に携わる看護師、介護福祉士、保育士等に対して各職種による支援の講義や、各事業所での課題解決に向けた研修を行う。	日時	R4.12.3（土）9:00～12:15
		場所	オンライン開催
		参加人数	40 人
今年度はコロナ感染防止に伴い、WEB形式（ZOOM）での開催。 ①加齢による身体面の変化（小児整形外科医師） ②多職種でおこなう健康管理について（看護師） ③愛育園での成人活動の紹介（生活援助員） ④実技デモンストレーションビデオ（PT/OT/ST） ・ベッド上（仰向け・横向き）ポジショニングについて ・摂食介助のポイント ・コミュニケーションの基礎			

(9)	特別支援学校等教員研修会		
担当部署	総合療育センター	対象	成人期を迎えている脳性まひ等の方が通う県内の障害者利用施設職員
目的	千葉県のリハビリテーション医療と教育の連携を深めることを目的に、学校教員を対象とした研修を行う。	日時	R4.8.4 (木) 9:30～15:15
		場所	オンライン開催
		参加人数	成人期を迎えている脳性まひ等の方が通う県内の障害者利用施設職員
今年度はコロナ感染防止に伴い、WEB形式（ZOOM）での開催。 ①摂食を理解するための基礎知識（小児神経科医師） ②肢体不自由と姿勢観察（理学療法士） ③補装具と福祉制度（ソーシャルワーカー） ④食べる機能の発達を促す介助の工夫と成長に伴う問題への対応（看護師） ⑤障害をもつ子どもたちへの食事指導の留意点～作業療法士の視点から～（作業療法士）			

(1 0)	第 19 回脊髄損傷リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	地域リハ推進部	対象	脊髄損傷当事者、家族、支援者他
目的	自動車事故により脊髄損傷などの後遺障害を被った者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、被害者とその家族、支援者等への情報提供や情報交換の場を提供すること	日時	R4. 12. 12（月）～12. 25（日）
		場所	オンデマンド配信
		参加人数	568 アクセス
テーマ「はたらく～脊髄損傷者の生活を豊かに～」			
①講演「働くための準備として知っておきたいこと」（吉備高原医療リハセンター 院長 古澤一成氏）			
②トークセッション「経験者は語る！働くことの実際を聞いてみよう」			
（パネラー：全国脊髄損傷者連合会千葉県支部 佐藤翔太氏、飯岡秀之氏、就労支援部 就労支援室長 中島光喜）			
（コーディネーター：福祉局 福祉局長兼就労支援部長 森戸崇行）			

(1 1)	第 4 回小児高次脳機能障害支援者向け研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ小児高次脳リハプロジェクト	対象	医療・福祉・教育行政関係等の支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R5.2.22（水）～2.28（火）
		場所	オンデマンド開催
		参加人数	250 名
「子どもの高次脳機能障害と学校生活～リハビリテーションの視点から～」 (リハビリテーション治療部 心理発達科長 中島友加、上席言語聴覚士 須田真紀、作業療法士 川原祐亮)			

(12)	第16回千葉県地域リハビリテーションフォーラム (共催 令和4年度 全国福祉用具相談・研修機関協議会 全国会議)		
担当部署	地域リハ推進部	対象	広域支援センター、ちば地域リハ・パートナー、その他地域リハ、福祉用具関係者
目的	県内の「持ち上げないケア」の推進やその仕組みづくりのための啓発、関係団体間の関係性構築をすること (千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業として開催)	日時	R5.2.12(日)
		場所	ホテルスプリングス幕張スプリングスホール
		参加人数	152名
テーマ「持ち上げないケア」を普及する			
①基調講演 国の福祉用具・介護ロボット等施策の展望 (厚生労働省老健局高齢者支援課 福祉用具・住宅改修指導官 長倉寿子氏)			
②シンポジウム 「持ち上げないケア」は何故普及しないのか (シンポジスト：福祉用具プランナー研究ネットワーク 奥山匡史氏、松戸向陽高等学校 江口祐樹氏、 亀田訪問看護センター 佐伯考一氏、総合相談部 上席ソーシャルワーカー 高野由貴) (司会：特別養護老人ホームいやさか苑 施設長 田上優佳氏、地域リハ推進部 主任理学療法士 太田直樹)			
③講演 「持ち上げないケア」の普及のために(福祉用具プラザ北九州 櫻木美穂子氏)			
④報告 「その人らしい暮らし」と「持ち上げないケア」 (報告者：株式会社モリトー 森島勝美氏、四街道まごころクリニック 鈴木俊成氏) (進行：千葉県福祉ふれあいプラザ 西野雅信氏)			
⑤討論 「持ち上げないケア」を千葉県で普及するために 千葉県地域リハビリテーション協議会会員 千葉県医師会、千葉県看護協会、千葉県理学療法士会、千葉県作業療法士会、千葉県老人保健施設協会、 千葉県健康づくり支援課			

(13)	令和4年度 地域リハビリテーション調整者養成研修		
担当部署	地域リハ推進部	対象	地域リハ広域支援センター、ちば地域リハ・パートナー、その他県内の地域リハ関係者
目的	地域に根ざしたリハビリテーションの基本を学び、県内で実践していくための基礎とすること	日時	ライブ講演 R5.3.6（月） オンデマンド配信 R5.3.13（月）～3.26（日）
		場所	WEB 開催
		参加人数	計 189 名（ライブ講演 97 名） （オンデマンド配信 92 名）
地域に根ざしたリハビリテーションを問い直す～WHO の Community Based Rehabilitation を読み解く～ （独立行政法人国際協力機構（JICA） 久野研二氏）			

(14)	高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2022		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の支援者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに連続で講座を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	第1回：R4. 7.8（金） 第2回：R4. 9.9（金） 第3回：R4.11.4（金） 第4回：R4. 1.13（金）
		場所	市民会館小ホール
		参加人数	第1回：78名 第2回：68名 第3回：51名 第4回：43名
講義：座長（高次脳機能障害支援部 高次脳機能障害支援部長 長谷川純子） 第1回：概論：高次脳機能障害概論（診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理） ミニ体験「面談の見える化」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第2回：各論1「神経疲労（脳疲労）・注意障害」（高次脳機能障害支援部 主席理学療法士 揚戸薫） ミニ体験「ナチュラルサポート」（高次脳機能障害支援部 心理師 杉澤麻由佳） 第3回：各論2「記憶障害・遂行機能障害」（高次脳機能障害支援部 心理師 杉澤麻由佳） ミニ体験「手順書作成」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第4回：各論3「社会的行動障害」（東京福祉大学 教授 先崎章氏） 「失語症」（リハビリテーション治療部 主任言語聴覚士 高橋誠貴）			

(15)	当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 2022		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者・家族
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、症状の理解と支援について、当事者や家族がわかりやすく短時間で学べることを目的としている。	日時	第1回： 集合 R4. 10. 19（水） オンデマンド R4. 10. 20（木）～10. 23（日） 第2回： 集合 R4. 12. 21（水） オンデマンド R4. 12. 22（木）～12. 25（日）
		場所	千葉リハビリテーションセンター ハイブリッド開催
		参加人数	第1回 8名+Web 配信 63名 第2回 7名+Web 配信 57名
講義： 第1回「脳疲労・注意障害・情報処理力の低下・記憶障害について」 （高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第2回「遂行機能障害・病識の低下・社会的行動障害について」（高次脳機能障害支援部 心理師 杉澤麻由佳）			

(1 6)	第 18 回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会（千葉県受託）		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R4. 10. 21（金）
		場所	市民会館小ホール
		参加人数	110 名
講演「高次脳機能障害と脳画像～基礎と応用～」 （座長：診療部 第一脳神経内科部長 赤荻 英理） （講師：旭神経内科リハビリテーション病院 神経内科医 石原健司氏）			

(17)	第5回生活版ジョブコーチ支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	高次脳機能障害支援の携わる県内事業所勤務の支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害者の自立支援のための支援技法を地域の支援機関・支援者に普及・啓発することを目的とする。	日時	R4. 11. 16（水）
		場所	千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	24名
講義： ①概論「高次脳機能障害の特性と対応」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） ②講義「高次脳機能障害の方の地域生活支援～生活版ジョブコーチ支援」（高次脳機能障害支援部 主席理学療法士 揚戸薫） ③グループワーク「生活版ジョブコーチ支援の視点で事例について考えましょう」			

(18)	第19回高次脳機能障害リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者・家族・支援者
目的	高次脳機能障害リハビリテーション講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への支援に役立つ情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	R5.1.21（土）
		場所	千葉県教育会館大ホール
		参加人数	150名
①講演：「高次脳機能障害者の治療と仕事の両立支援」 （座長：診療部 センター長 菊池尚久） （講師：産業医科大学医学部 リハビリテーション医学講座教授 佐伯覚氏）			
②ミニシンポジウム： 「高次脳機能障害を抱えながら働き続けるために～当事者・企業・支援者それぞれの体験談から～」 （座長：高次脳機能障害支援部 高次脳機能障害支援部長 長谷川純子） （シンポジスト：当事者（株）JAL カーゴサービス安全品質推進部 伊藤里美氏、 企 業（株）JAL カーゴサービス総務部 長谷川好美氏） （支援者：更生園支援部 主任生活支援員 老川久美江）			

(1 9)	第 5 回高次脳機能障害就労支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕 千葉リハ高次脳機能障害就労移行支援プロジェクト ※障害者就業・生活支援センター長生ブリオとの共催	対象	就労支援に関わる医療機関、就労移行・就労継続機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の就労支援についての正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R5.2.28（火）
		場所	茂原市役所会議室
		参加人数	6 名
1）講義 ① 「高次脳機能障害と就労」講師：（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） ② 「受傷から就労訓練を経て就職までの支援」 （社会福祉法人ワナーホーム障害者就業・生活支援センター センター長 橋本義隆氏） 2）グループワークおよび質疑応答			

(20)	第16回 高次脳機能障害と自動車運転勉強会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕 千葉リハ高次脳機能障害成人リハビリプログラムプロジェクト	対象	高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する支援を行っている方及びこれから支援を行おうとしている方
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、運転再開支援者向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R5.3.11（土）
		場所	オンライン開催
		参加人数	25名
講義①「高次脳機能検査（主としてCAT）と自動車運転の評価および支援」 講義②「ドライビングシミュレータと自動車運転の評価および支援」 講義③「停止車両評価の意義と進め方」 （リハビリテーション治療部 第二作業療法科長 高浜功丞、作業療法士 吉村友宏、作業療法士 石田理江子）			

(2 1) 医療的ケア児を受け入れる小中学校看護師等研修			
担当部署	医療ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児のために市町村立小中学校に配置された看護師 ②医療的ケア児が在籍している市町村立小中学校の養護教諭または管理職 ③市町村教育委員会担当者
目的	県内の市町村立小中学校に配置されている看護師及び養護教諭や管理職、さらには市町村教育委員会の担当者が一同に会し、学校における看護師の役割と看護管理及び看護師への実技研修を行い、医療的ケア児への理解を深める。	日時	R4.8.22 (月)
		場所	オンライン開催
		参加人数	65 名
内容			
①学校における看護師の役割と看護管理 (Nurse Fight 代表 植田陽子氏)			
②医療的ケア児についての理解 (千葉県医療的ケア児等支援センター センター長 石井光子)			
③医療的ケアの実践とリスク管理 (千葉県医療的ケア児等支援センター センター長 石井光子)			
④小児期における1型糖尿病の管理 (千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏)			
⑤補装具、移動具など (リハビリテーション治療部 上席理学療法士 石田純)			
⑥看護師対象：動画や人形による実技研修 (気管カニューレ・胃ろうボタン交換・導尿) (千葉県医療的ケア児等支援センター センター長 石井光子)			
⑦管理職・教育委員会担当者を対象とした情報交換会 (Nurse Fight 代表 植田陽子氏、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課教育課程指導室 指導主事 深澤祐子氏、千葉県医療ケア児等支援センター コーディネーター 景山朋子)			

(2 2)		医療的ケア児等を受け入れる保育所看護師等研修	
担当部署	医療ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児のために幼稚園、保育所、認定こども園などに配置されたまた配置予定の看護師 ②医療的ケア児が在籍また在籍予定の保育所、認定こども園などの保育士や管理職、市町村担当者
目的	医療的ケア児のために保育所等に配置されている看護師や保育士への研修を行い、医療的ケア児への理解を深める。	日時	R4. 10. 23 (日)
		場所	千葉リハビリテーションセンター及びオンライン開催
		参加人数	280 名
①医療的ケア児の保育の実際（児童発達支援センター 主任保育士 奥村敬子） ②保育園における医療的ケア児看護の実際（習志野市立大久保こども園 看護師 飯田眞奈美氏） ③未就学児保育における看護管理（千葉科学大学 教授 市原真穂氏） ④相談支援の実際 （千葉県医療ケア児等支援センター コーディネーター 佐藤郁夫、コーディネーター 景山朋子） ⑤医療的ケア児の理解（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏） ⑥実技研修 （千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏、外来主任看護師 實初恵子氏、こども・家族支援センター主任看護師 鈴木香織氏、千葉県医療ケア児等支援センター センター長 石井光子、診療部 第二小児科部長 小島佳奈、看護局 看護局長 池畑久美子、看護部 副看護部長 栗林欣子、看護師長 佐久間真弓、看護師長 藤代文江、看護師長 森下由香里）			

(2 3)		成人期訪問診療医等移行期支援研修	
担当部署	医療ケア児等支援センターぼらりす	対象	千葉県内の成人在宅診療医及び重症心身障害児者を診療している小児科医
目的	小児科医が診療してきた慢性疾患患者の成人期における診療体制が大きな課題となっており成人期移行には困難なことが多い。移行がスムーズに進むよう在宅診療医を対象とした研修を千葉大学医学部附属病院移行期医療支援センターと共催するもの。	日時	R4. 12. 4 (日)
		場所	オンライン開催
		参加人数	38 名
内容			
①医療的ケアの必要な重症心身障害児の特徴と移行期における在宅診療医への期待 (千葉県医療的ケア児等支援センター センター長 石井光子)			
②医療的ケア児を含む在宅医療の実践について[成人在宅医の立場から] (医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック理事長 市橋亮一氏)			
③重症心身障害児者の慢性期医療について			
1. 重症心身障害児者の慢性期医療の全体像 (あおぞら診療所まくはり 院長 児玉一男氏)			
2. 呼吸障害に対する在宅医療と相談・入院適応 (診療部 第一小児神経科部長 田邊良)			
3. 介護保険と異なる障害福祉サービス (千葉県医療的ケア児等支援センター コーディネーター 景山朋子)			
④医療的ケアの必要な重症心身障害児者への成人在宅医の実践報告			
1. つかだファミリークリニック (院長 塚田雄大氏)			
2. みんなのライフサポートクリニック大綱 (院長 五十嵐雅氏)			
⑤総合討論 座長：千葉県こども病院 こども・家族支援センター/成人移行支援室長 数川逸郎氏			

(2 4)	訪問看護師・老健看護師等研修（講義）		
担当部署	医療ケア児等支援センターぼらりす	対象	①医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等 ②医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない老人保健施設等の看護師等
目的	医療的ケア児等が地域で安心して在宅療養ができるよう訪問看護等を行う看護師等の職員を育成することにより、医療的ケア児等の医療・福祉の向上を図ることを目的とする	日時	R5. 1. 29（日）
		場所	千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	38 名
内容			
①医療的ケア児についての理解（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
②医療的ケア児等への看護倫理（千葉科学大学 教授 市原真穂氏）			
③医療的ケア児の日常生活援助（看護部 看護師長 松岡大樹）			
④医療的ケア児の訪問看護の実践（訪問看護ステーションびいす 管理者 塚田典子氏）			
⑤医療的ケア児等の在宅生活に必要な支援（千葉県医ケア児等支援センター コーディネーター 佐藤郁夫）			
⑥超重症児のアセスメント及び急変時の対応（千葉県こども病院 看護師 初芝寿子氏）			
⑦呼吸障害と肺ケア（診療部 第一小児神経科部長 田邊良）			
⑧医療的ケア児のリスク管理（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
⑨障害児のリハビリテーション座学&実技			
（リハビリテーション治療部 主席理学療法士 金坂一篤、主任理学療法士 須藤沙織）			

(25)	訪問看護師・老健看護師等研修(実技)		
担当部署	医療ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等 ②医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない老人保健施設等の看護師等
目的	医療的ケア児等が地域で安心して在宅療養ができるよう訪問看護等を行う看護師等の職員を育成することにより、医療的ケア児等の医療・福祉の向上を図ることを目的とする	日時	R5.2.23(木)
		場所	千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	39名

①実技研修事前講義

カニューレ・胃ろう・用手換気(千葉県医療ケア児等支援センター センター長 石井光子)

人工呼吸器・排痰補助装置(診療部 第一小児神経科部長 田邊良)

酸素ボンベ(看護部 主席看護師 佐々木律子)

②実技研修

カニューレ交換(千葉リハビリテーションセンター 小児科部長 小島佳奈)

胃ろう交換(千葉県医療ケア児等支援センター センター長 石井光子、看護部 副看護部長 栗林欣子)

パーカッサーと排痰補助装置(カフベンティック)

酸素ボンベ(看護部 看護師長 森下由香里)

人工呼吸器(フィリップス)

用手換気(診療部 第一小児神経科部長 田邊良)

(26)	医療的ケア児等コーディネーター養成研修		
担当部署	医療ケア児等支援センターばらりす	対象	相談支援専門員、保健師、訪問看護師等、地域においてコーディネーターの役割を担う者
目的	人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児等に対する支援を地域において総合調整する者を養成することを目的とする	日時	R5.3.21(火)～3.24(金)
		場所	千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	40名
【1日目】			
・障害児の特徴と疾病(千葉県医療ケア児等支援センター センター長 石井光子)			
・医療的ケア児等の在宅支援の実際			
①訪問診療(あおぞら診療所まくりはり 院長 児玉一男氏)			
②訪問看護(訪問看護びいす 管理者 塚田典子氏)			
③訪問リハ(えるさば訪問看護ステーション 理学療法士 曾田和史氏)			
④相談支援(千葉県医療的ケア児等支援センター コーディネーター 佐藤郁夫)			
・多職種で共有する医療的ケア児等看護における倫理、医療安全(千葉科学大学 看護学部 教授 市原真穂氏)			
【2日目】			
・医療的ケア児等の療育支援及び日中活動支援			
(児童発達支援センター 主任保育士 子安益代、主任保育士 奥村敬子)			
・医療的ケア児等のリハビリテーション(リハビリテーション治療部 主任理学療法士 大矢祥平)			
・医療型障害児入所施設の役割(千葉県医療的ケア児等支援センター コーディネーター 山野木大海)			
・医療ケア児を受け入れる保育所の実際(習志野市立大久保こども園 看護師 飯田真奈美氏)			
・医療ケア児を受け入れる小学校の実際(千葉市スクールメディカルアドバイザー 杉本景子氏)			
・重症心身障害児が通う特別支援学校の実際			
(千葉県立袖ヶ浦特別支援学校 医療的ケアコーディネーター 木川純子氏、岩田弘美氏)			
・虐待防止・権利擁護(千葉県医療的ケア児等支援センター コーディネーター 景山朋子)			
【3日目】			
・演習Ⅰ医療的ケア児の退院支援と家族支援・演習Ⅱ就学移行期の相談支援・演習Ⅲ卒後の支援			
(千葉大学附属病院患者支援部 看護師 伊藤香氏、呼吸器ユーザー 野田匠氏、野田玲子氏、千葉県医療的ケア児等支援センター センター長 石井光子、コーディネーター 佐藤郁夫、コーディネーター 景山朋子)			
【4日目】			
・ばらりすの機能(千葉県医療的ケア児等支援センター コーディネーター 景山朋子)			
・先駆的取り組み紹介・実践報告			
(ぶるーむの風相談室 後藤慎也氏、(株)てとて相談室 加藤亜矢氏、千葉市中央区基幹相談支援センター 相談員 伊藤佳世子氏)			
・災害時の地域の支援体制づくり、地域住民を巻き込んだ災害支援と家族の防災対策			
(全国医療的ケアラインの連絡会(千葉県家族会) 矢澤博美氏、重心痛所さくら 管理者 竹内耕氏、医ケア児者の災害対策検討部会 ワークショップかぶらぎ 管理者 近藤美貴氏)			